

第604号



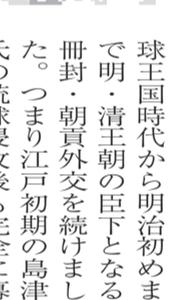
喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2019年7月16日
 発行責任者 喬木村公民館 長 徹
 市 瀬 徹
 編集責任者 公民館編集部 長 志
 仲 田 久 志
 印刷 龍共印刷株式会社

第一回 平和学習会

琉球弧の歴史と沖縄戦



今年度一回目の平和学習会のテーマは沖縄戦です。一フット運動は、アメリカにある膨大な沖縄戦の記録フィルムを一人一フットずつ購入した運動で、購入フィルムは三三・五kmに達したそうです。『ドキュメント沖縄戦』は戦後五十年にあたってまとめられた映像作品で、既に勝利が見えていた米軍がどのような作戦で戦ったのかがよくわかるとともに、その目に映った沖縄の姿が残酷なほど克明に映し出されています。

沖縄本島の戦争は昭和二十年四月一日から六月二十三日とされていますが、米軍はその前年の沖縄空襲の折に詳細な地形を撮影して地形図・立体模型を

作成して作戦を立てました。本島攻撃の後方支援基地確保のために三月末に上陸した慶良間列島では、日本軍とともに多くの住民も山中に逃げ、七〇〇人の住民が集団自決で亡くなりました。東洋一と言われた飛行場をもつ伊江島では住民も武器をもって戦い、その約半数が亡くなりました。日本軍司令部が置かれた首里城をめぐる首里攻防戦では、わずか三kmを四十日間という壮絶な戦いを繰り返して、五月二十九日、米軍が首里城を占領。司令部は摩文仁に撤退して玉砕を命じ、泥沼の狂気の南部戦線へ。六月二十三日未明、牛島司令官自決。その後も崖から身を投げ捨てる人々、自決。沖縄戦の正式な終結は九月七日の沖縄戦降伏調印式でした。沖縄戦の犠牲者は日米双方で二〇数万人余。沖縄県民犠牲者は十二万人、県民の四分の一が亡くなりました。

学習会後半は『琉球弧の歴史と沖縄戦』と題して飯田市歴史研究所の田中雅孝先生の講演をお聴きしました。様々な研究が進み歴史の見方はどんどん変わってきているそうです。沖縄は古来、東アジアの交易圏の中心に位置

する豊かな海洋国家で、琉球王国時代から明治初めまで明・清王朝の臣下となる冊封・朝貢外交を続けました。つまり江戸初期の島津氏の琉球侵攻後も完全に幕藩体制下に入ったとは言えず、外交権を持つ独立国で置かれた。明治の琉球処分(廃藩置県で沖縄県となる)は国家併合だと言えます。戦後は長期間米軍施政権下の軍事的植民地とされ、日本復帰後も在日米軍基地の集

喬木村村歌の誕生

前文化財保護委員長 木下俊佐

「南信濃の下伊那に類稀なる大村は」で始まる「村歌」は明治四十二年作られた。作詞は福澤青藍、作曲は長谷部巳津次郎で、当時の旧制の飯田中学校(現在の飯田高校)の教師でした。二人に依頼した経緯についてはわかっていないが、村歌が作られた経緯について当時の「職員会議録」「学校日誌」などに断片的に記されている。喬木村は、明治八年、阿



上映の後、田中先生のお話を聞きました

どをし、謝礼は「蛇の目傘二本、代金二四〇〇銭」を支払、十一月十三日「村歌」として完成、一六日には「村歌講習ノタメ 中学福澤教諭の許へ出張セシモ病氣ニ依リ延期トナル」と「学校日誌」に記されている。このように「郷土唱歌」が「村歌」となり、小学校で教えられる各学校の「校歌」(村歌の七、八番の歌詞参照)になり、卒業生が歌い続ける中で「村の歌」となった。明治四十五年、学校問題も解決し、喬木第一、第二小学校の二校となった。戦後は喬木第一、喬木第二小

校、喬木中学校(富田部校)が設置されそれぞれの校歌ができた。村民の和を願う、「唱歌・校歌・村歌」の精神を大切に村当局が、昭和四十六年に改めて村歌として公告し、正式に「村歌」と決め、村の行事等で村歌を歌い続けている市町村は県下でも稀有である。また、喬木村発足一一五年を記念して、村内の史跡に「村歌碑」十五基を含む二十四基の記念碑をそれぞれふさわしい場所に建立、村歌については、歌詞に詠われている場所に建立されている。

中という「構造的沖縄差別の状態に置かれました。お話の中でとりわけ心に残ったのは、戦後伊江島で「銃剣とブルドーザー」による土地強奪を受けながら米軍に対して非暴力主義の抵抗を行った阿波根昌鴻さんの陳情規定の一文です。「人間性においては生産者である我々農民の方が軍人に優っている自覚を堅持し、破壊者である軍人を教え導く心構えが大切である。」



歴史民俗資料館前の村歌碑 (揮毫 市瀬尚夫)

公民館楽遊塾第2講座

童謡・唱歌をみんなで歌いましょう



思えない音量でした。元気の秘訣は「大きな声で唄うこと」とのこと。選曲は長野県に所縁のある曲が多く、全十五曲。参加して下さった方々もとてもこやかに、故郷の山、川、田、畑等の原風景を思い出しながら歌っているようでした。

近畿地方が未だ梅雨入りせず、村内では数日前に降雹があり果樹園や畑で農作物の被害が出るという異常気象。週末には大雨の予報を受け心配していました。二時間という時間があっという間に過ぎ、うっとりという梅雨の気分を吹き飛ばし、さわやかな笑顔がいっぱいでした。

講師には清水正則さんをお迎えしました。シンセサイザーを巧みに演奏して下さい、一曲目は「春の小川」を歌いました。



清水先生の伴奏に合わせて童謡を楽しく歌う

あの時

先月、G20の環境関係閣僚会議が軽井沢で開かれた。今、問題となっている海洋プラスチックごみ問題への対策として、国際的な枠組みをつくることに合意した。

私が注目したのは、この会議に合わせた高校生たちの行動だ。長野高校の生徒は「ごみ拾いをして音楽フェスタに参加しよう」と提案、参加国の閣僚に英語でスピーチした。県内で開催するロック音楽フェスタを企画し、開催前に各地でごみ拾い活動を行って、参加者にチケットを配ろうというのだ。長野市内の用水路などのごみ拾いを通して、プラスチックごみの多さに驚き、海のない長野県にも責任があると考えたのがきっかけだ。また、上田高校の生徒は、ベアドックによるツキノワグマ被害対策を紹介、野生動物との共存、生態系の保全について訴えた。

海洋プラスチック問題の解決には国際的な合意や規制が必要だ。しかし、それを守って実践する人々の意識や行動が代わらなければ、絵に描いた餅になってしまう。若者の具体的な提案や行動には、未来を変えてくれる可能性を感じる。小さくてもいい、具体的な行動が大事だと私は思う。今年も暑い夏がやってくる。屋外での活動には日焼け止めが欠かせない。最近密かに話題となっているのが、サンゴに優しい日焼け止めという商品だ。海に流れ出してもサンゴへの影響がないらしい。(館長)

お知らせ 武田信玄狼煙上げ

喬木村狼煙上げ実行委員会では恒例になりました武田信玄狼煙上げを下記の日程で実施します。根羽村の杣路峠から諏訪・富士見町までリレー方式で狼煙をつないでいきます。狼煙や地域の歴史を知る良い機会ですので大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

日時 8月31日(土) 午前9時20分現地集合(雨の場合中止)
 場所 富田 城山 加々須 茶臼山
 内容 狼煙作り体験・狼煙や地域の歴史の学習 他地域の狼煙の確認
 持ち物 特にありません

頑張ってます 喬木剣道クラブのご紹介

喬木剣道クラブは保育園児一人、小学生八人、中学生二人の十一人のクラブです。

喬木剣道クラブを築き上げてくれた、この道三十年のベテラン指導者の原秀樹先生にはじまり、長野県代表現役でも活躍されている熊谷伸昭先生、先日、六段に昇段した女性剣士の尾曾恵子先生により、ひとりひとりの個性を見極めて、子供達の持っている力を引き出す指導をしていただいています。

継続して、行われる火曜会(オープン参加)の稽古には、飯田市下伊那の小学生から社会人まで、熊谷先生の指導を仰ぎたく体育館は毎週、熱気にあふれています。

この六月九日(日)に行われた、第一〇七回飯伊地

区春季剣道大会(飯田地区剣道連盟主催)においては、喬木剣道クラブの選手六人が入賞、小学五・六年女子の部は上位を全て喬木剣道クラブが独占と優秀な成績を収めることが出来ました。

また、五月に行われた道場連盟の県大会では、飯田・下伊那の代表として個人戦に出場し、筒井南心さんが準優勝、熊谷心菜さんがベスト八と好成績を残すことが出来ました。

喬木村の「喬木」という字は「きょうぎ」とも読めます。スポーツ関係人口の多い喬木村が競技(きょうぎ)が盛んな村として、県下にも発信できるよう、喬木剣道クラブは、これから稽古に励んで行きます!! 随時、喬木剣道クラブの仲間も募集しております。いつでも見学にお越し下さい。練習は毎週火曜日の午後六時半より八時半、土曜日の午後六時半より八時半 紹介者: 内山清彦

第107回 飯伊地区春季剣道大会



喬木剣道クラブの皆さん

『第107回飯伊地区春季剣道大会の結果』

- ◆小学校以下男女の部
 - 優勝 宮沢 結望さん
 - 2位 高尾 蓮さん
- ◆小学校3年男子の部
 - 優勝 熊谷 俊祐くん

- ◆小学5・6年女子の部
 - 優勝 筒井 南心さん
 - 2位 熊谷 心菜さん
 - 3位 内山 心晴さん



六月三十日(日)、分館対抗女子ソフトバレーボール大会が中央社会体育館と中学校体育館を会場に開催されました。十一分館から十四チームにご参加いただき、各分館が練習の成果を発揮し、白熱した試合が繰り広げられました。若い人から年輩の方まで一緒になって楽しい大会となりました。結果は次のとおりです。

令和元年度 分館対抗女子ソフトバレーボール大会



中央社会体育館会場 優勝 伊久間A

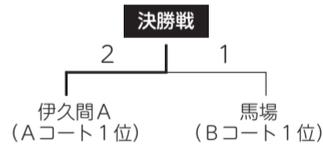


中学校体育館会場 優勝 南B

決勝戦・3位決定戦 結果表

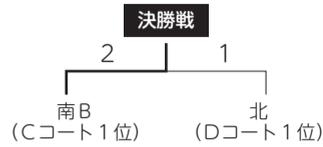
中央社会体育館会場

- 優勝: 伊久間A
- 準優勝: 馬場
- 3位: 帰牛原A



中学校体育館会場

- 優勝: 南B
- 準優勝: 北
- 3位: 富田



高円宮賜杯 第三十九回全日本学童軟式野球大会 長野県予選大会出場



県大会へ出場した喬木少年野球クラブ

六月十九日、高円宮賜杯第三十九回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント長野県予選大会に出場する喬木少年野球クラブの選手の激励会が行われ、村長から励ましの言葉を受けると共に、激励品が授与されました。

同クラブは六月二十二・二十三日に松本市営球場等で開催された県大会にて中信地区の吉田スポーツ少年団と対戦。奮闘しましたが負けてしまいました。来年も県大会に出場し、健闘することを期待しています。

編集後記

よく雨が降る。九州は大変な雨量で被害が出ている。最近の雨は集中して降る量が大量でむかしとは、くらべものにならない。九州地方では大きな地震があった年から、毎年どこかで集中豪雨があるという。私たちは三六災害がありその時の話を受けついで行く必要がある。早めの行動が必要であると同時に、今までなかったのだから大丈夫、などというのが通用しなくなっていると思つた方がいいのかもしれない。選挙が始まる。自分の票などない事はないなどと思わないで、一票は唯今の社会で、平等な権利だから。

たかぎ短歌会

水無月歌会詠

朝なさのウォーキングに見る家車の車はなべて高齢者マーク

田中 妙子

言論の自由などと嘯きて「戦争」とふ意味何と解する

市瀬 准子

眠られぬ午前三時のラジオから亡父の十八番の「湯の町エレジー」

小椋 りよ

初孫を見られぬままに逝きし父母思ひめぐらし我が孫を抱く

知久 美子

採り立ての野菜持ち行く直売所小さな小さな我がの楽しみ

木下 寿子

猫にゃんに座椅子奪はれ文句言ふ可愛いくせに許せぬか夫

関島 春子

山鳩の声うるませる若葉雨裏山日ごとに緑したたる

大村 初見

平成の最後の年も奈良井川北の海へと一途に流る

桐原 邦夫

母の日に貰いし庭のクレマチス数多咲き初め我を呼びよす

内山 和子

中国より稼ぎ来し人と朝なさに言葉を交わす笑み浮かべつつ

元島 康子

五月尽名残の水仙収まりて代わりに牡丹が七色に咲く

多田 昭

鬼太鼓のバチの捌きも軽やかにホテルの門にて邪気打ち払ふ

福澤 亀人